



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進



「定期テスト」から 「単元内テスト」へ

夏休みまであと3週間となりました。学校だより(第6号・第7号)では、本校で実施している「単元内テスト」について、取り上げます。

本校では「定期テスト」を取り止めて、「単元内テスト」を実施しています。これは、各教科の学習内容のまとまり(単元)ごとに行うテストのことで、授業の進捗状況に応じて実施します。小学校の学習は、このスタイルだったと思います。

① 何のために？

では、何のために、このようなスタイルに移行したのでしょうか。

これからの時代は「予測困難な時代」といわれています。現行の学習指導要領では、この時代を生き抜く生徒に育みたい資質・能力として、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させた上で、思考力・判断力・表現力や自ら学習に向かう力等を示しています。

これまでは「みんなと同じことができる」とか「言われたことを言われた通りにできる」とか「正解(知識)の暗記」に比重があり、それらを確認するため、「定期テスト」は有効な方法でした。

その反面、自ら課題を見つけ、それを解決する力や、自ら考え抜く力の育成等は“十分なされていなかった”との指摘もあり、学習指導要領の求める資質・能力の育成において、「定期テスト」でそれらを測るのは、難しくなってきたといえます。

そこで、これまでのテストの在り方を見直して、「単元内テスト」へ移行することで、その育成を図るとともに、主体的に学ぶ力を育み、学力の向上、定着を目指しています。

これまでは「定期テスト」の結果が、成績に大きく左右され、その期間だけ、集中して勉強に取り組むことにより、好成績も期待できました。テスト前に、出題されそうな部分を、集中的に覚える「一夜づけ」勉強法も有

効でした。

「単元内テスト」への移行は、ペーパーテストの結果にとどまらない、多面的な評価も可能となります。

テストは、生徒が既習内容の定着具合を確かめるためのものであり、その方法は「定期」とする必要はありません。学期の中を分け、テスト範囲を設けて、一斉にテストを行う「定期(中間・期末)テスト」よりも、学習内容のまとまり(単元)ごとに行う「単元内テスト」の方が、学習状況を適切に評価することができるのではないかと考えます。「単元内テスト」への移行により、評価の頻度が増え、生徒一人一人の学習状況や理解度を的確に把握して、思考力・判断力・表現力や自ら学習に向かう力等も適切に評価でき、学習指導要領の求める資質・能力の育成につながると考えます。

ただ「単元内テスト」は、範囲の狭い学習内容を確認するものであることから、これまで通り「到達度テスト」や「確認テスト」等を活用して、より広い範囲で学習内容の定着を測る機会も設けています。これらを図式化すると、裏面のようになります。

② 何が変わるのか？

全国的にも「定期テスト」を廃止して「単元テスト」に移行する中学校が増えています。「単元テスト」と併せて、より範囲の狭い「小テスト」も行い、日々の授業で学んだ内容の定着具合を、生徒一人一人が実感できるように工夫しているそうです。本来、勉強は自発的に取り組むものです。1回あたりのテスト範囲が狭いことで、休み時間の過ごし方、家庭学習等にも変化が見られるようです。



本校においても、生徒一人一人が、このような姿勢で授業(学習)に臨むことを期待しています。日常的に「テスト」という目標があることで、時間を有効に使う習慣を身につけ、これまで以上に、自分自身で考え判断(選択)して、学習に取り組んでほしいと願っています。

これからも、教職員一同、創意工夫を凝らして、よりよい「単元内テスト」の在り方を考え続け、指導や支援に役立てていきたいと思っています。(次号に続く)

「テスト」はこうに変わりました

【変更前】R5まで ※令和5年度には、単元内テスト移行への取り組みを始めています。

学期	1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期
全学年	中間テスト 期末テスト 到達度テスト		確認テスト 中間テスト 期末テスト 到達度テスト		期末テスト
1年	NRT				確認テスト 到達度テスト
2年	NRT 県学力把握				確認テスト 到達度テスト
3年	全国学力		教達検① 教達検②		到達度テスト 私立前期推薦 私立一般 後期検査

【変更後】R6以降～

学期	1学期	夏休み	2学期	冬休み	3学期
全学年	到達度テスト		確認テスト 到達度テスト		
1年	NRT				確認テスト 到達度テスト
2年	NRT 県学力把握				確認テスト 到達度テスト
3年	NRT 全国学力		教達検① 教達検②		到達度テスト 私立前期推薦 私立一般 後期検査

それぞれの「テスト」って？

テストの種類	説明
中間テスト	1・2学期に、5教科（国語・社会・数学・理科・英語）で実施します。
期末テスト	各学期、全教科（9教科）で実施します。
到達度テスト	各学期、5教科で実施します。テスト範囲は広いです。
確認テスト	休み明けに、5教科で実施します。テスト範囲は、休み中の学習内容が中心です。
単元内テスト	各教科により、実施方法等が異なります。
（教研式）NRT	全国の学力水準と比較して相対的に学力を把握します。5教科で実施します。
その他	全国学力・学習状況調査、県学力把握調査、教育課程到達度確認検査があります。